

授業科目 解剖生理学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	健康	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	45	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現
◎		◎		◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】						
前期の解剖生理学実習では、“自分自身の身体について生理学的に理解する”ことを目的とした実験・実習を行う。すなわち、自分達自身を被験者として、形態や体力などの身体機能をあらわすパラメーターを測定する。その他、人体解剖模型、あるいは、顕微鏡による組織観察を通じて、解剖学的知識を学ぶ。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
1）自分自身の身体について興味をもち、生理学的に理解する。						
2）臓器の位置や解剖学的特徴を理解する。						
3）実験レポートの書き方を学ぶ。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	前期ガイダンス					実習
2	BMI と体脂肪率の測定					実習
3	人体解剖模型の観察とスケッチ 第一回					実習
4	BMI と体脂肪率測定のまとめとレポートの書き方					実習
5	最大酸素摂取量の測定					実習
6	最大酸素摂取量測定のまとめとレポートの書き方					実習
7	組織観察 第一回					実習
8	人体解剖模型の観察とスケッチ 第二回					実習
9	組織観察 第二回					実習
10	人体解剖模型の観察とスケッチ 第三回					実習
11	組織観察 第三回					実習
12	骨量測定					実習
13	骨量測定のまとめとレポートの書き方					実習
14	解剖学に関するテスト					実習
15	まとめ					講義と演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 レポート・試験と出席状況			【履修上の留意点】 事故防止のため、服装（白衣、上履の着用）、実験機器の取り扱い等について注意すること。 詳細は学期はじめのガイダンスにおいて説明する。			